



タイ

基本情報

◆国名	タイ王国
◆首都	バンコク
◆面積	51万4,000km ² (日本の約1.4倍)
◆人口	6,951万人(2013年)
◆公用語	タイ語
◆民族	殆どがタイ族、マレー族、インド族、その他山岳少数民族など
◆宗教	仏教 95%、イスラム教 4%、その他1%
◆気候	タイは熱帯モンスーン気候であり、11~2月は乾期で一年間で最も過ごしやすい季節。3~5月は暑期で最高気温が35度を超える熱帯夜が続く、6~10月は雨期でスコールが降る。
◆通貨	バーツ、補助単位: サタン(1バーツ=100サタン)
◆時差	マイナス2時間、日本の午前10時はタイの午前8時
◆ビザ	不要
◆ベストシーズン	バンコク、プーケットなど 12-2月、サムイ 7-8月
◆世界遺産	アユタヤ、スコートイ、カオヤイなど

滞在情報

◆両替	空港や市内の両替所、銀行やホテルなどで可能。タイ国内での両替がお勧め。再両替は紙幣のみ空港で可能。
◆クレジットカード	JCBを含め様々なカードが使えるが、VISAが一番多い。一部のレストラン、屋台では使用不可。
◆チップ	チップの習慣あり。枕銭は1人20バーツ程度、ホテルではサービスにより10~50バーツ、レストランやタクシーでは御釣りのうちコインを渡すのが相場となっている。
◆水	水道水は飲料不可。ミネラルウォーター要購入。
◆治安	治安は良いとされているが、置き引き、すりなどに注意が必要。
◆交通	バンコクでは時間によって交通渋滞が激しく、市内ではBTS(スカイトレイン)やMRT(地下鉄)での移動が便利。タクシーは初乗り35バーツ。(料金の割り増し請求に要注意)
◆服装	年間を通して夏の服装で良いが、チェンマイなど山岳部では朝晩冷え込むことがある。また、レストランや乗り物などエアコンが効き過ぎるところもある為、上着が一枚必要。王宮やバンパイン離宮はミニスカート、ショートパンツ、ノースリーブ、サンダルでは入場できない為、注意が必要。
◆持ち物	サングラス(日差しが強い為) 虫除け(蚊が多い為) 雨具、折り畳み傘(特に雨季)
◆マナー	頭は最も神聖とされる部位。他人の頭部には触れてはならない。たとえ子供でも、かわいいからといって、頭を撫でてはいけぬ。
◆ネット	日本より通信状況は少し悪い。バンコクではインターネットが無料のホテルが増えているが、有料の箇所も多数有り。
◆喫煙	タイは先進国並みに厳しく、エアコンのあるパブリックスペースは殆ど禁煙。
◆電圧	220ボルト。プラグはホテルによって異なる。 中級ホテル以下にご滞在の場合は、プラグ、アダプターキッドの持参がお勧め。 Ⓜ Aタイプ Ⓝ BFタイプ Ⓞ Cタイプ
◆病院	バンコクの医療は高水準。 日本人スタッフのいる病院やキャッシュレスサービスもある。
◆通関	持ち込み 外貨は制限なし。現地通貨は50,000バーツまで。 タバコ1カートン。酒10など。 持ち出し 外貨は入国時申請額、または10,000US\$相当額まで。 現地通貨は50,000バーツまで。

通貨



10,000円=約3,100バーツ
(2014年4月現在)
目安はタイバーツに3をかけた数字が円となる。

※通貨の転用・複写はご遠慮ください。

観光地情報



チェンマイ: 古き良きタイの町や人々と触れ合える。

バンコク: 首都。観光からショッピングと幅広く楽しむことができ、電車の交通網も発達している。

パタヤ: バンコクから日帰り可能な人気のビーチ。

サムイ: インターナショナルリゾートとして人気の島。

プーケット: タイ最大の島。アジア有数のビーチリゾート。

※地図の転用・複写はご遠慮ください。

◆現地スタッフより

- *タイは「行きたい国」のランキングで常に上位に上がる人気国。気候、食事、ショッピング、エステ、ゴルフなど何でもお勧め。
- *タイは敬虔な仏教国で、仏教関係の祝日は禁酒となる。また、正当な選挙を行う為に、選挙の前日から禁酒となる。
- *女性に「キレイ!」と言ってはいけない。タイ語の「キレイ」は反対で「汚い(ブス)」となる。
- *駅やバスターミナル、空港などでは、毎日8:00と18:00の2回、国歌が流れる。曲が流れている間は起立し動かないこと。映画館や劇場では上演前に国歌または国王賛歌が流れ、その際も起立しなければならない。
- *お酒の販売時間制限があり、11-14時、17-24時までしかスーパーやコンビニでも買えない。
- *タイのコンビニにはトイレがない。外出中、トイレに行きたくなった場合は最寄のホテルや大型ショッピングモールなどに行く必要が有る。
- *バンコクなどの主要都市には日本食が多く存在するが、日本で食べるよりも高い場合が殆どである。お酒も酒税の関係でビール以外は高い。
- *免税タバコなどの持ち込みは1カートンまで。空港ではよく取り締まりがあるので要注意。1カートンだけお持ち下さい。高い罰金の上、没収される。